



四日市市自治会連合会

四自連だより

発行

R1年11月1日発行

【編集・発行】

四日市市自治会連合会

〒510-8601

四日市市諏訪町1-5

TEL 059-354-8287

e-mail:yonjiren@m6.cty-net.ne.jp

第22号



ごあいさつ

四日市市自治会連合会 会長 水谷 重信

四日市市自治会連合会の皆様におかれましては、地域において自治会活動にいろいろとご尽力賜っておりますこと、心からお礼申し上げます。

さて、ご承知の通り、今年度は8月の豪雨災害やあいつぐ台風など多くの災害が発生しており、特に台風19号では、広範囲にわたり甚大な被害にみまわれました。被災された方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々に対し、深い哀悼の意を

表します。

このような予測不能な異常気象による自然災害は、年々頻度が増し、被害も拡大しております。

四日市市でも、9月4日から降り続いた大雨の影響で、下野地区の山城町では、1時間121ミリという記録的な大雨となり、床上、床下浸水、道路の陥没、急傾斜地においては、がけ崩れにより家屋が崩壊する被害があったと伺っております。

ニュースで報道されている被害はひとつとではないことは、だれもが認識しており、最近では、避難勧告に先駆けて出される避難準備情報によって、前もって避難所に待機する高齢者や要支援者の数も、年々増えてきております。

今後は危機管理体制全般について行政と地域がしっかりと連携していけるように、真剣に話し合う必要があると思っております。

地域にとって、防災・防犯を強化していくことは、安心で安全なまちづくりの基本となります。

高齢社会への対応、子どもの見守り、多発する自然災害への防災等、多様化する地域課題を解決するために、地域コミュニティの活性化が求められており、自治会が果たす役割は、益々重要なものとなります。

そのためには、自治会加入の促進や自治会を主体としたまちづくり活動の推進を図り、より一層、行政と協働して地域づくりに取り組んでいきたいと思っております。

四日市市自治会連合会総会

令和元年5月29日(水)プラトンホテル四日市にて総会が行われました。森市長・諸岡議長からご挨拶を頂き、事業報告、決算報告、新役員の選出、事業計画、予算等の審議を致しました。

総会後は、行政幹部の施策説明会が行われ令和元年度の施策等の紹介がありました。



役員人事

| | |
|------|---------------|
| 会長 | 水谷 重信 (海蔵地区) |
| ○副会長 | 小松 茂久 (県地区) |
| 副会長 | 安田 和郎 (中央地区) |
| 副会長 | 里中 俊雄 (小山田地区) |
| 副会長 | 河合 正一 (河原田地区) |
| 副会長 | 内田 寛 (羽津地区) |
| 副会長 | 春日部 昇 (八郷地区) |

第22号のおもな内容

- 令和元年度自治会長大会 P2
- 市内視察研修 P3,4
- 東日本大震災被災地視察研修の報告 P4,5
- タウンミーティング P6
- 特色ある防災活動 P7
- 避難所案内表示板完成! 全地区に配布 P8

令和元年度自治会長大会

10月30日（水） 四日市市自治会長大会を開催いたしました。

第1部では、永年勤続表彰で60名のかたが受賞されました。

第2部は、「効果的な防犯パトロールと身近な護身術」というテーマでセルフディフェンスコミュニケーション開発代表理事 青嶋宮央氏に講演していただきました。



令和元年度 永年勤続被表彰 自治会長（60名）

（敬称略・順不同）

| | | | |
|------------|-------------|------|-------|
| 勤続30年（1名） | | | |
| 県地区 | あこず団地 | 自治会長 | 大西 始 |
| 勤続25年（1名） | | | |
| 神前地区 | 神前地区連同上名ヶ丘 | 自治会長 | 佐藤 房雄 |
| 勤続20年（1名） | | | |
| 日永地区 | 前田町北部 | 自治会長 | 満川 紳一 |
| 勤続15年（11名） | | | |
| 港地区 | 西末広町 | 自治会長 | 寺井 勝 |
| 浜田地区 | 北浜田町 | 自治会長 | 西田 稔 |
| 羽津地区 | 羽津地区連合八田第三 | 自治会長 | 内田 寛 |
| 富洲原地区 | 天力須賀中町 | 自治会長 | 加藤 昇 |
| 川島地区 | 川島町南部 | 自治会長 | 後藤 三郎 |
| 常磐地区 | 石塚町二区 | 自治会長 | 鎌田二三男 |
| 常磐地区 | 西伊倉町 | 自治会長 | 梅谷 邦英 |
| 水沢地区 | 水沢地区連合 水沢谷町 | 自治会長 | 堤 武 |
| 日永地区 | 山崎町 | 自治会長 | 坂 照明 |
| 楠地区 | 楠地区連合 | 自治会長 | 中村 克義 |
| 楠地区 | 古川町 | 自治会長 | 佃 昭朗 |
| 勤続10年（15名） | | | |
| 共同地区 | 共同地区連合 堀木第一 | 自治会長 | 谷口 寿紀 |
| 羽津地区 | 山手町 | 自治会長 | 佐藤 敏明 |
| 富洲原地区 | 富田一色弁天町 | 自治会長 | 鈴木 哲生 |
| 富洲原地区 | 天力須賀南町 | 自治会長 | 浦島 一 |
| 大矢知地区 | 大矢知町齊宮 | 自治会長 | 古市 立美 |
| 川島地区 | 川島町東部 | 自治会長 | 高橋 輝夫 |
| 常磐地区 | 松本町三区 | 自治会長 | 木寺 秀臣 |
| 四郷地区 | 四郷連合 | 自治会長 | 伊藤 哲 |
| 四郷地区 | 東日野町第二 | 自治会長 | 井上 詔明 |
| 四郷地区 | 高花平三丁目北部 | 自治会長 | 塚本 博 |
| 四郷地区 | UR笹川（C地区南東） | 自治会長 | 吉田 力 |
| 四郷地区 | UR笹川（C地区南） | 自治会長 | 小多田幸則 |
| 日永地区 | 前田町東部 | 自治会長 | 郡司 初典 |
| 楠地区 | 吉崎 | 自治会長 | 児玉 昇 |
| 楠地区 | 丑之新田 | 自治会長 | 伴野 貞義 |

| | | |
|-----------|---------------|------------|
| 勤続5年（31名） | | |
| 共同地区 | 西町二区 | 自治会長 土井 賢一 |
| 共同地区 | 中部堅町 | 自治会長 飯田 裕久 |
| 共同地区 | 中部南町 | 自治会長 吉田 亮 |
| 共同地区 | 北町第一 | 自治会長 橋本 勝文 |
| 中央地区 | 沖の島町 | 自治会長 伊藤 侑二 |
| 浜田地区 | 鶯の森二丁目 | 自治会長 猪野 隆雄 |
| 浜田地区 | 曙二丁目 | 自治会長 安田 弘 |
| 橋北地区 | 京町西 | 自治会長 亀井 正明 |
| 橋北地区 | 川原町第一 | 自治会長 青木 克行 |
| 橋北地区 | 川原町第三 | 自治会長 皆川 晴樹 |
| 羽津地区 | 白須賀町 | 自治会長 野呂 照哉 |
| 羽津地区 | 富士町 | 自治会長 森 松男 |
| 羽津地区 | 八田第二 | 自治会長 木村 昌弘 |
| 羽津地区 | 大宮第三 | 自治会長 須藤 啓一 |
| 富田地区 | 北魚町 | 自治会長 橋本 達也 |
| 富田地区 | 新町二区 | 自治会長 渡辺 文一 |
| 富田地区 | 茂福北ノ町 | 自治会長 岡山 厚志 |
| 富洲原地区 | 富田一色堺町 | 自治会長 宮腰 繁美 |
| 富洲原地区 | 松原緑町 | 自治会長 鈴木 修市 |
| 富洲原地区 | 松原東平町 | 自治会長 山田 三郎 |
| 富洲原地区 | 天力須賀江戸町 | 自治会長 寺本 昭 |
| 大矢知地区 | 大矢知地区連合 川北町代表 | 自治会長 渡邊 重信 |
| 八郷地区 | 八郷地区連合 千代田町 | 自治会長 春日部 昇 |
| 三重地区 | 生桑町美里が丘 | 自治会長 古本 義徳 |
| 県地区 | 上海老町大沢 | 自治会長 南川 哲衛 |
| 桜地区 | 桜町山上第一 | 自治会長 奥山千津子 |
| 桜地区 | 広域桜花台連合 | 自治会長 神田 幹雄 |
| 神前地区 | 美里ヶ丘 | 自治会長 佐野しのぶ |
| 四郷地区 | 室山町 | 自治会長 山田 勝也 |
| 小山田地区 | 堂ヶ山町 | 自治会長 平山 真二 |
| 日永地区 | 天白町 | 自治会長 永里 壽 |

※勤続年数については単位自治会長歴と連合自治会長歴を通算しております

市内視察研修

9月18日(水)、キオクシア(旧東芝メモリ株式会社四日市工場)・四日市市茶業振興センターを視察研修しました。

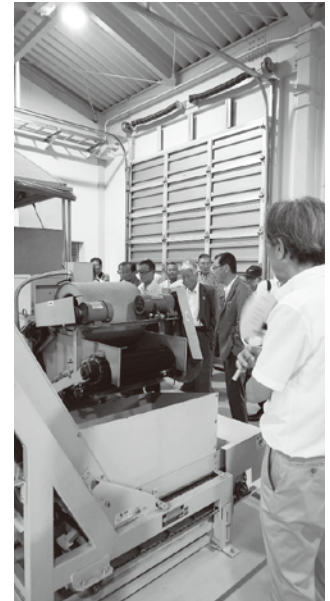
キオクシア(旧東芝メモリ株式会社)四日市工場は、中京工業地帯を代表する産業都市四日市市の中でも、最先端の半導体を製造している世界でも指折りの規模を誇る半導体メモリのものづくりの拠点です。

今回、視察研修を受け入れていただき、一般では見学できない貴重な機会をいただき、最先端技術を見学し、製造工程等を学びました。

また、夏祭り、地元小中学校への見学会や出前教育、こども環境教育等、地域との交流を積極的に行われ、周辺地区連合自治会でも大変お世話になっており、地域社会との協調の姿勢に触れることができました。

また、午後からの茶業振興センターでは、時間がなくゆっくりと見学できなかったのですが、お茶の製造工程を説明していただき、三重県はお茶生産全国第3位、その中で、水沢町が生産するかぶせ茶においては、水沢が全国1位ということでした。

黒い覆いをかぶせることで、渋味成分が抑えられ甘みのあるまろやかで高級な味に仕上がります。四日市市から全国に発信できるブランドであると認識しました。



| | | | |
|------|----------------------|------------------|--|
| 日 時 | 令和元年9月18日(水) | | |
| 視察内容 | 1・東芝メモリ株式会社 四日市工場 見学 | 四日市市山之一色町800番地 | |
| | 2・四日市市茶業振興センター 見学 | 四日市市水沢町字西野252-63 | |
| | 3・新名神高速道路 走行 | | |

【キオクシア(東芝メモリ株式会社) 四日市工場】

東芝メモリ株式会社四日市工場は、2017年2月に、3次元フラッシュメモリを製造する第6製造棟を着工。2018年3月からメモリ開発センターの運用を開始した。

第6製造棟は、3次元フラッシュメモリは、長期的な市場の拡大が見込まれており、今後も市場動向に応じて、生産体制を拡充していく予定である



四日市工場(右下の建物が第6製造棟)



クリーンルーム



【茶業振興センター】

茶業振興センターは、茶業技術の発展、茶業従事者の技術向上並びに茶の消費拡大により茶業の発展を図る目的のもと、平成4年に設置され、平成30年、新名神高速道路の建設に伴い移転新築した。



調理体験室



研修棟外観



展示・試飲コーナー



茶工場

東日本大震災被災地視察研修の報告

下野地区連合自治会長 野呂 秀



下野地区では、令和元年6月7日(金)から8日(土)にかけて、東日本大震災から8年を経過した被災地(宮城県 仙台市・東松島市・石巻市)を訪れ、今後予想される南海トラフ地震に備えて自治会の役割と心構えなどについて学びました。今後の地区での防災をはじめとしたまちづくり活動に大変有意義な研修になりました。



(1)「仙台市の復興公営住宅における生活再建支援」

(仙台市太白区 あすと長町第二復興公営住宅集会所)

復興公営住宅は東日本大震災による集団移転対象者や宅地被害、その他で住宅を失った方々に整備する低廉な家賃の市営住宅で仙台市では3,200戸が整備されました。

生活再建には良好なコミュニティの形成が重要で、孤立防止や見守り活動も必要になります。区役所、社協と自治会が協働し、震災直後の行政による支援から入居者による主体的活動につなげようと活動が行われています。住民の高齢化と役員の担い手不足が今後の課題ということでした。

(2)「東松島市震災復興伝承館(旧JR野蒜駅)～集団移転先の高台団地」 (東松島市野蒜)

東松島市旧JR仙石線野蒜駅の周辺地域では、津波到達高さが3.7m、500人を超える方が犠牲になりました。旧駅舎は「東松島市震災復興伝承館」として開設され、震災遺構として保存されているプラットホーム、当時の津波高さの表示や震災時の写真、記録映像をみることができ、ホール壁面のはるか上方の津波到達高さを表すライン、止まった時計や泥をかぶった乗車券販売機等が展示され、地元職員の方から当時の様子について説明を受けました。

医療法人 尚豊会 みたき総合病院

標榜診療科目 内科、消化器内科、神経内科、緩和ケア内科、循環器内科、人工透析内科、糖尿病内科、肝臓内科、産婦人科、外科、血管外科、乳腺外科、耳鼻咽喉科、整形外科、リウマチ科、泌尿器科、脳神経外科、リハビリテーション科、小児科、眼科、麻酔科、歯科口腔外科、小児歯科

診療時間 午前／9時00分～正午 午後／4時00分～6時00分

休診日 水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

住所 〒512-0911 四日市市生桑町菰池458番地1

電話 (059) 330-6000

URL <http://mitakihp.jp/>

三重交通グループ
バス運転士募集

これからも地域の皆さまに安全と安心、最高のサービスを提供するために...

Recruitment of bus drivers

三重交通ではバス運転士を募集しています。
詳細は下記までお問い合わせ下さい。

三重交通株式会社

人事部 運転士採用係 0120-351-179 (平日 9:00～17:00)

(3)「旧石巻市立大川小学校」(石巻市釜谷)

本震発生後およそ50分後に、新北上川を遡上してきた津波が河口から約3.8kmにある学校を襲い、在学児童108名のうち校庭にいた児童74名と教職員11名が犠牲になり、学校管理下の子どもが犠牲になった事故としては戦後最悪の惨事となった小学校跡地を訪ねました。

次に案内されたのは学校敷地からすぐにある裏山へ登る小道で、ここへ逃げていれば助かったとされるその上り口では緩い勾配のすぐ先に津波到達ラインが表示されていました。

(4)「東松島市あおい地区」(集団移転地 あおい西集会所)

東松島市最大の集団移転団地で、まちづくりに住民の意見を反映、完成後も住みやすさを追求する取り組みを行っているあおい地区会は、被災後、集団移転せざるを得なくなった住民が、震災前と同じような生活を少しでもできるようにと、年間90～120回のペースで協議を重ね、土地利用計画や災害公営住宅の間取りなどに住民意向を反映させました。現在は高齢者の見守り、イベント運営をはじめとした地区の運営が積極的に行われています。

(5)視察を終えて

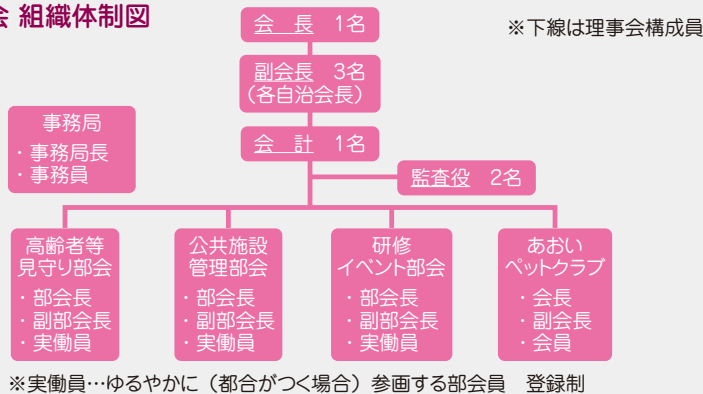
下野地区は、去る9月4日に北勢地方を襲った記録的な大雨で床上浸水6棟、床下浸水10棟、北山町地域では住宅に差し迫った場所での土砂崩れが発生し地域の住民にとって、災害への危機感が高まり、より一層防災の大切さを実感しました。

山城町では、災害時、速やかに地域の情報を共有するために、スマートフォンを用いて各所の状況をリアルタイムに把握する実証実験や訓練をして、災害時の情報共有に向けて取り組んでいます。

今後、この取り組みを下野地区から四日市市全体に広めていきたいと思っています。



あおい地区会 組織体制図



大切なあなたの大切な一日のはじまりに



みえの朝ごはん

Breakfast at PLATON HOTEL

TEL.059-352-0300
四日市市西新地 7-3



地域の方の健康増進ならびに
高齢者福祉に貢献します。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

四日市羽津医療センター

(旧 四日市社会保険病院)

四日市市羽津山町10番8号 TEL 059-331-2000

タウンミーティング



森市長によるタウンミーティングは、3年目となり、四日市市自治会連合会協力のもと今年も各地区で実施されました。

市からのテーマは「新総合計画」について市長から説明がありました。地区からは地域における課題や市制に期待することを意見交換しています。

タウンミーティングの内容をご紹介します。



| 開催日 | 地区 | テーマ |
|-------|-----------------------|---|
| 6/3 | 海蔵 | ①阿倉川駅の駅前整備について ②三重県広域防災拠点（北勢拠点）の整備にかかる機能・運営について |
| 6/15 | 富洲原 | ①富洲原地区臨海部の再開発について～富田一色漁港の活性化とみなとオアシスに係る提案～ ②地域コミュニティを支える人材探しについて |
| 6/23 | 河原田 | まちなかの安全な道路づくり |
| 6/27 | 八郷 | フリートーク |
| 6/30 | 川島 | 多目的広場の整備について |
| 7/5 | 保々 | 地域社会づくり総合事業費補助金について |
| 7/11 | 内部 | メガソーラー開発の裏に～内部地区の農作物被害と市の対策・補償～ |
| 7/16 | 小山田 | 小山田地区のまちづくり（働く世代の住環境）を推進する（向上させる）上での重要課題について |
| 7/23 | 日永 | 防災について |
| 7/30 | 楠 | ずっとこのまちで～もっと四日市を好きになるために～ |
| 8/22 | 橋北 | 橋北地区から市への提案 |
| 8/29 | 四郷 | 四郷地区とモデル地区笹川における多文化共生推進施策の今後 |
| 9/2 | 水沢 | 水沢地区の将来に大きな不安を感じ、森市長にお願いしたいこと |
| 9/7 | 塩浜 | 新総合計画と塩浜地区の課題について |
| 9/13 | 常磐 | 常磐地区のまちづくり構想について |
| 9/18 | 富田 | ふるさと納税制度の充実について～市民が市政を後押しするために～ |
| 9/24 | 中部 (共同：員和・中央・港・浜田) | 老人クラブと各自治会とのかかわりについて |
| 10/2 | 県 | ①地域の声を十分反映した四日市市農業センター整備について ②地域の実情を十分考慮した道路整備について |
| 10/7 | 下野 | 朝明川ウォーターフロント構想の推進 |
| 10/11 | 大矢知 | フリートーク |
| 10/15 | 羽津 | 羽津古新田への鉄道駅の設置について |
| 10/21 | 桜 | フリートーク |
| 10/25 | 三重 | ①国指定天然記念物御池沼沢植物群落の現状と今後への提案 ②コミュニティ施設の充実 若者世代から高齢者までが集える場所の確保 ③団地内スピード抑制と交通渋滞緩和へのお願い ④在宅介護支援センター制度見直しへのお願い |
| 10/30 | 神前 | 神前小学校周辺及び国道477号線バイパス沿線の規制緩和による人口増加を目指して |



特色ある防災活動

子供に防災リテラシーを

羽津地区連合自治会会長 内田 寛

羽津地区では、平成28年から小中学生を対象として「防災サイバール体験学習」を開催しています。子供達に防災に関する知識・技能を身に付けてもらい、将来の地域を支える人材に育ててほしいとの願いで始まったものです。当初は地域活動費（館長権限予算）の一事業として、羽津地区まちづくり推進協議会が委託を受けて企画・実行してきました。地域活動費は3年まで実施できますが、4年目となる今年は、地域活動費が使えなかったため、日赤社員増強運動の還付金を原資に、連合自治会が資金供与を行いました。

体験学習そのものは、小学校での一泊二日のイベントですが、昨年からは三重大学大学院の川口先生など外部講師を招いて事前学習会も開催し、本番に向けての予備知識習得と意識高揚を図っています。

今年は防災マップ作りに重点を置きました。1日目は朝から夕方まで、参加者22名が3班に分かれてまち歩きを行い防災マップ作りに取り組みました。昨年も防災マップ作りを行ったのですが、中途半端に終わってしまっていたので、子供達ながら心残りだったようで、昨年も参加した子供達は気合を入れて取り組んでいました。

夕食はキャンプのような野外調理、食後はキャンプファイヤーで楽しみ、寝るのは校庭に張ったテントです。昨年までは体育館で寝泊まりしていましたが、今年はテント村避難所と同じ大型テントでの宿泊としました。

2日目は、朝食後、各班が作成した防災マップの発表を行い、川口先生に講評してもらって終了しました。

作成した防災マップは、子供たちの本気度を反映して、いずれも完成度が高く、四日市市消防本部が主催する防災マップコンテストに応募したところ、1点が見事最優秀賞に選ばれました。

この取り組みは、小中学校や教育委員会からも高く評価されており、今後とも継続していき子どもたちの防災意識を高めていく予定です。



防災マップ作り



キャンプファイヤー



防災マップコンテスト最優秀賞

「市営式場」の家族葬を24時間365日受付中

株式会社 ふじや本店

光倫会館

☎0120-114248

【本社】四日市市松本町北大谷2015 北大谷斎場口
TEL:059-351-1151(代) FAX:059-351-4224

北勢地域で創業90年
ご要望に丁寧にお応えします。

ATKE

阿竹印刷工業株式会社

〒510-8016 四日市市富州原町14-24
TEL 059-365-3125



避難所案内表示板 完成! 全地区に配布

避難所案内表示板が完成し、四日市市全24の地区市民センターに配布され、118か所ある市の指定避難所の備蓄倉庫にも配置しました。

この案内表示板は、地域から「避難所のレイアウトに女性の視点を加えたい」「避難所を配置する案内板があるといいな」という声が寄せられ、四日市市自治会連合会が企画・立案し、四日市市地区防災組織連絡協議会、四日市市の三者が共催で作成しました。

外国語の記載においては、四日市市国際交流センターを通じて外国人の方に、表記を訳してもらい、日常ではどのような表現をしているのかを確認しながら作成しています。

また、八郷地区自主防災協議会や地区市民センター館長、地域マネージャー等のご協力のもと八郷小学校・八郷西小学校で、案内表示板を使った訓練を行い、モデル地区として、多様な意見を反映しました。

指定避難所での生活で、最初からあったほうが助かるグッズとして、災害発生時だけでなく防災訓練等で活用し、スペースの確保を考えてもらいたいと思います。配布した表示板は、ラミネートで加工していますので、地域に合った内容にその都度、作り変えてもらって構いません。(ラミネート加工は、地区の防災補助金ハード面で適用します。)

特徴は、避難所運営本部や受付等の基本的な案内だけでなく、授乳・おむつ替え場、介護室、こどもの遊び場、ペットの居場所等「災害弱者」らの視点を取り入れています。



《編集後記》

四自連だよりは、四自連の事業や、四日市市と協働で行っている活動を紹介し、みなさんにご理解、ご協力いただくために発信しております。

四日市市自治会連合会は、市内のいろいろな地域活動や、課題解決していくために情報交換できる場として今後も活動していきたいと思ひます。

四日市市自治会連合会事務局 〒510-8601 四日市市諏訪町1-5
TEL・FAX 059-354-8287